

## ウズベキスタンにおけるミレニアム開発目標の達成度合い・可能性

達成度合い・達成可能性等	指標数値
<b>I. 極度の貧困と飢餓の撲滅</b>	
ターゲット① 2015年までに1日1ドル未満で生活する人口を半減させる	
ウズベキスタン政府はいくつかの異なる貧困の定義を用いていることにより、貧困層の割合も異なる。現在、WB及びADBの支援により、PRSPの策定が急がれている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日1ドル未満で生活する人口:21.8%(2001年)</li> <li>ウズベキスタン政府の貧困の定義によれば、貧困層は総人口の16%~27.5%とされている</li> </ul>
ターゲット② 2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる	
飢餓の報告は今日までない	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限必要とされるカロリー消費を下回る人口の割合 10%(1995)⇒26%(2001)</li> </ul>
<b>II. 普遍的初等教育の達成</b>	
ターゲット③ 2015年までに、全ての子供が男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする	
達成済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>15歳から24歳の人口の識字率 99.7%(1995,2002)</li> <li>小学校の就学率:99.6%(2001)</li> </ul>
<b>III. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上</b>	
ターゲット④ 2015年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する	
ウズベキスタン政府のデータによれば、就学率における男女格差はすでにないとされているが、WBやUNによれば、中等・高等教育において格差が生じているとの報告がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女間識字率の差は1990年からほぼ0%</li> <li>初等・中等教育における女子/男子の比率 91.6%(1995)⇒97.9%(2001)</li> </ul>
<b>IV. 幼児死亡率の削減</b>	
ターゲット⑤ 2015年までに5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる	
達成可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳未満児の死亡率(出生数千人当り) 24.2人(1995)⇒16.5人(2002)</li> </ul>
<b>V. 妊産婦の健康の改善</b>	
ターゲット⑥ 2015年までに妊産婦の死亡率を4分の3減少させる	
妊産婦の死亡率は1996年までは減少傾向にあったが、1996年以降は増加している	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦の死亡率(出生数10万人当り) 20.7%(1996)⇒34.1%(2001)</li> </ul>
<b>VI. HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延防止</b>	
ターゲット⑦ HIV/AIDSの蔓延を2015年までに阻止し、その後減少させる	
達成可能性不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV/AIDS感染・発生日数 1,760人(2002)、(前年比779人増)</li> </ul>
ターゲット⑧ マラリアおよびその他の主要な疾病の発生を2015年までに阻止し、その後発生率をさげる	
マラリアは主にタジキスタンからの輸入感染が多い。結核は、地域格差が大きく、カラカルパクスタンでは発生率が高い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核の発生率(10万人当り) 47.6人(1991)⇒72.4人(2001)</li> </ul>
<b>VII. 環境の持続可能性の確保</b>	
ターゲット⑨ 持続可能な開発の原則を各国政策や戦略に反映させ、環境資源の喪失を防止し、回復を図る	
持続可能な開発の原則はすでに政策に反映されている。(例えば、State Programme of Environmental Protection and Rational Use of Natural Resources; National Environmental Action Plan等)	--
ターゲット⑩ 2015年までに安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合を半減する	
安全な飲料水を継続的に利用できない人口の割合は過去10年間で減少しており、現在も減少傾向にある	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な飲料水を継続的に利用できない人口の割合 約33%(2002)</li> </ul>
ターゲット⑪ 2020年までに、最低1億人のスラム住居者の生活を大幅に改善する	
情報入手不可能	--
<b>VIII. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進</b>	
ターゲット⑫ 民間セクターと協力し、特に情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする	
ターゲット⑫以外の進捗状況については、統計が存在しないことや、関連情報が入手不可能とされ、報告されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>千人当り電話(携帯含む)回線数 68.7本(1990)⇒73.9本(2002)</li> </ul>

出所:United Nations. *Uzbekistan: Common Country Assessment*. 2003; World Development Indicators Database (<http://devdata.worldbank.org/idg>); UNDP. *Human Development Report*, 2003, 2004

## カザフスタンにおけるミレニアム開発目標の達成度合い・可能性

達成度合い・達成可能性等	指標数値
<b>I. 極度の貧困と飢餓の撲滅</b>	
ターゲット① 2015年までに1日1ドル未満で生活する人口を半減させる	
達成可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得が最低生存水準以下の人口の割合 34.6%(1996) ⇒ 28.4%(2001)</li> </ul>
ターゲット② 2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる	
達成可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得が food basket コスト以下の人口の割合 12.7%(1997) ⇒ 11.3%(2001)</li> </ul>
<b>II. 普遍的初等教育の達成</b>	
ターゲット③ 2015年までに、全ての子供が男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする	
達成済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>初等教育就学率 98.8%(1990) ⇒ 99.5%(2002)</li> <li>識字率(15-24歳) 99.5%(1990) ⇒ 99.9%(2002)</li> </ul>
<b>III. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上</b>	
ターゲット④ 2015年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する	
達成済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に通う人口における女生徒の割合 中等教育 49% (2002) 高等教育 54% (2002)</li> </ul>
<b>IV. 幼児死亡率の削減</b>	
ターゲット⑤ 2015年までに5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる	
達成困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳未満児の死亡率(出生数千人当り) 34人(1990) ⇒ 22.8人(2001)</li> <li>乳児死亡率(出生数千人当り) 26.4人(1990) ⇒ 19.4人(2001)</li> </ul>
<b>V. 妊産婦の健康の改善</b>	
ターゲット⑥ 2015年までに妊産婦の死亡率を4分の3減少させる	
達成困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦の死亡率(出生数10万人当り) 55人(1990) ⇒ 48.6人(2001)</li> </ul>
<b>VI. HIV/AIDS、マalaria、その他の疾病の蔓延防止</b>	
ターゲット⑦ HIV/AIDSの蔓延を2015年までに阻止し、その後減少させる	
達成困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV/AIDS患者数(内15歳～29歳の患者の割合) 3,093人(69%) (2002)</li> </ul>
ターゲット⑧ マalariaおよびその他の主要な疾病の発生を2015年までに阻止し、その後発生率をさげる	
達成困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核発生率(人口10万人当り) 65.8人(1990) ⇒ 155.7人(2001)</li> </ul>
<b>VII. 環境の持続可能性の確保</b>	
ターゲット⑨ 持続可能な開発の原則を各国政策や戦略に反映させ、環境資源の喪失を防止し、回復を図る	
達成困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土面積に占める森林地帯: 3.6%(1990) ⇒ 4%(2002)</li> <li>国土面積に占める保護地区: 2.7%(1995) ⇒ 2.7%(2002)</li> <li>一人当たり二酸化炭素の排出量: 15.3トン(1990) ⇒ 8.1トン(2001)</li> </ul>
ターゲット⑩ 2015年までに安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合を半減する	
達成可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合 都市部:15% 農村部:27%</li> </ul>
<b>VIII. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進</b>	
ターゲット⑪ 民間セクターと協力し、特に情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする	
--	<ul style="list-style-type: none"> <li>千人当り電話(携帯含む)回線数 80.0本(1990) ⇒ 194.7本(2002)</li> </ul>

出所:United Nations. *Kazakhstan: Achievements, Issues and Prospects*, 2004; World Development Indicators Database (<http://devdata.worldbank.org/idg>)